

陳 情 文 書 表

受理番号	1 第 1 1 号	受理年月日	令和元年 6 月 7 日												
陳 情 者															
件 名	小規模認可保育園と認可園の連携についての陳情														
<p>【陳情の趣旨】</p> <p>現在目黒区は認可園を次々増設していますが、子育て支援制度で「市町村が調整を行う」とされている。小規模認可園と認可園の連携については、しっかりとした解決策がないのが現状です。</p> <p>しかし、目黒区は小規模認可卒園児がほぼ問題なく認可園に入れるということで現状を変えるつもりはないと言っています。(平成30年度2月28日文教・子ども委員会保育課発言より)</p> <p>しかし「平成31年度版めぐろ子育てホッ！とブック」で小規模認可保育園を卒園する2歳児の数と受け皿となる公立園、認可園の3歳児入園可能枠を比較してみたところ下記のような数字となりました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">目黒区全域、公立園新規入園可能枠</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">40名</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>目黒区全域、認可保育園新規入園可能枠</td> <td style="text-align: right;">38名</td> <td style="text-align: right;">合計78名</td> </tr> <tr> <td>19年度目黒区全域、小規模認可園卒園予定児</td> <td style="text-align: right;">64名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">認証保育所卒園予定児</td> <td style="text-align: right;">55名</td> <td style="text-align: right;">合計119名</td> </tr> </table> <p>認証は実数が不明の為定員数で計算しています。</p> <p>2歳卒園予定児の内41名は入園することが出来ないこととなります。</p> <p>(上記は今年度小規模認可保育園での卒園予定実数です。本来定員数で計算すれば77名が行き場のない状態です)</p> <p>なぜ増設しているにも関わらず、このようなことが起こるかと言えば、認可園のほとんどが3歳での定員を増やしていないからです。</p> <p>目黒区全体の2歳卒園児の人数を把握しながら連携問題は先送りにし、各事業者に対して目黒区は主導的に人数調整を行うこともせず3歳児枠に考慮しない認可園の増設が続いています。</p> <p>小規模認可保育園及び、在園・卒園する子ども達や保護者の存在を軽視していると思わずにはられません。</p> <p>また、現状ではせっかく小規模認可保育園に入れたと安心したのもつかの間、保護者はすぐにまた3歳以降の転園先を模索し保活を継続しなければならず、園側にとっても認可園への途中転園が繰り返される現状では子ども達との信頼関係を築きながら見通しをもった保育を行うことも叶いません。</p>				目黒区全域、公立園新規入園可能枠	40名		目黒区全域、認可保育園新規入園可能枠	38名	合計78名	19年度目黒区全域、小規模認可園卒園予定児	64名		認証保育所卒園予定児	55名	合計119名
目黒区全域、公立園新規入園可能枠	40名														
目黒区全域、認可保育園新規入園可能枠	38名	合計78名													
19年度目黒区全域、小規模認可園卒園予定児	64名														
認証保育所卒園予定児	55名	合計119名													

地域の中で家庭的な保育を希望している保護者や子ども達の為に、そして小規模認可園 / 認可園を保護者自身が保活の不安なく平等に選択できる未来の為に、下記の内、いずれかを早急に検討しこの問題を解決していくことを目黒区に求めます。

【陳情事項】

- 1 小規模認可保育園卒園児を優先して入園決定するようにする。(例：足立区)
- 2 小規模認可保育園卒園児に対しては今より大幅に加点をする。(例：茅ヶ崎市)
- 3 今後認可保育園に対しては、小規模認可保育園卒園児を収容できる定員枠になるよう各認可保育園へ向け区が主導して人数調整の要請をし、3歳児枠の見直しを行う。